

会社説明会

～ 光を科学し、社会に貢献する ～

シーシーエス株式会社

(ジャスダック 証券コード6669)

2005年7月9日

<http://www.ccs-inc.co.jp/>

本日のテーマ

◆事業領域	4
◆工業用LED照明事業	6
◆海外展開	17
◆特許戦略	20
◆新規事業	22
◆業績推移	28

会社概要

社名:シーシーエス株式会社 (CCS Inc.)

CCS (Creative Customer Satisfaction)

設立:1993年10月

資本金:4億5,465万円(2005年6月末現在)

従業員数:175名(2005年6月末現在)

事業所:本社(京都市上京区) <2001年移転>

東京営業所(品川区) <2000年開設>

CCSロジスティックセンター(京都市伏見区) <2004年開設>

中国上海事務所 <2003年9月開設>

関係会社:CCS America Inc.(100%出資子会社)

(マサチューセッツ州 ボストン近郊) <1999年9月設立>

RDV(S)PTE LTD.(100%出資子会社)

(シンガポール) <2004年9月 完全子会社化>

CCS Europe (100%出資子会社)

(ベルギー) <2004年11月設立>



本社



東京営業所
(高輪台グリーンビル9F)

事業領域

シーシーエスの事業領域

工業用LED照明事業

画像処理用
LED照明で
国内シェア1位
(60%)

新規事業

顕微鏡用照明分野

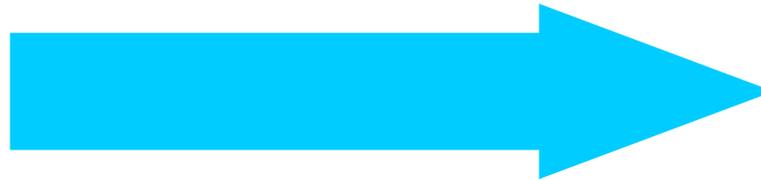
農業用照明分野

医療用照明分野

工業用LED照明事業

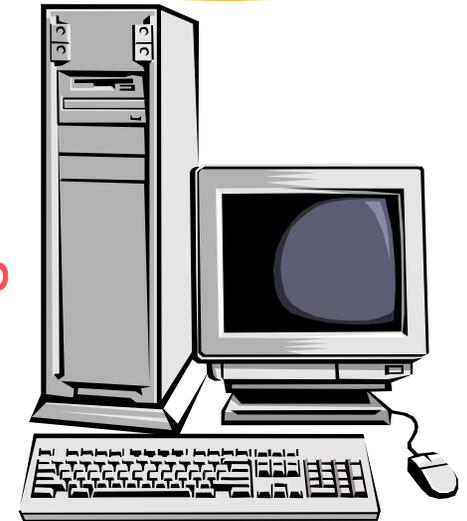
画像処理における変化～目視から自動化へ～

目視検査

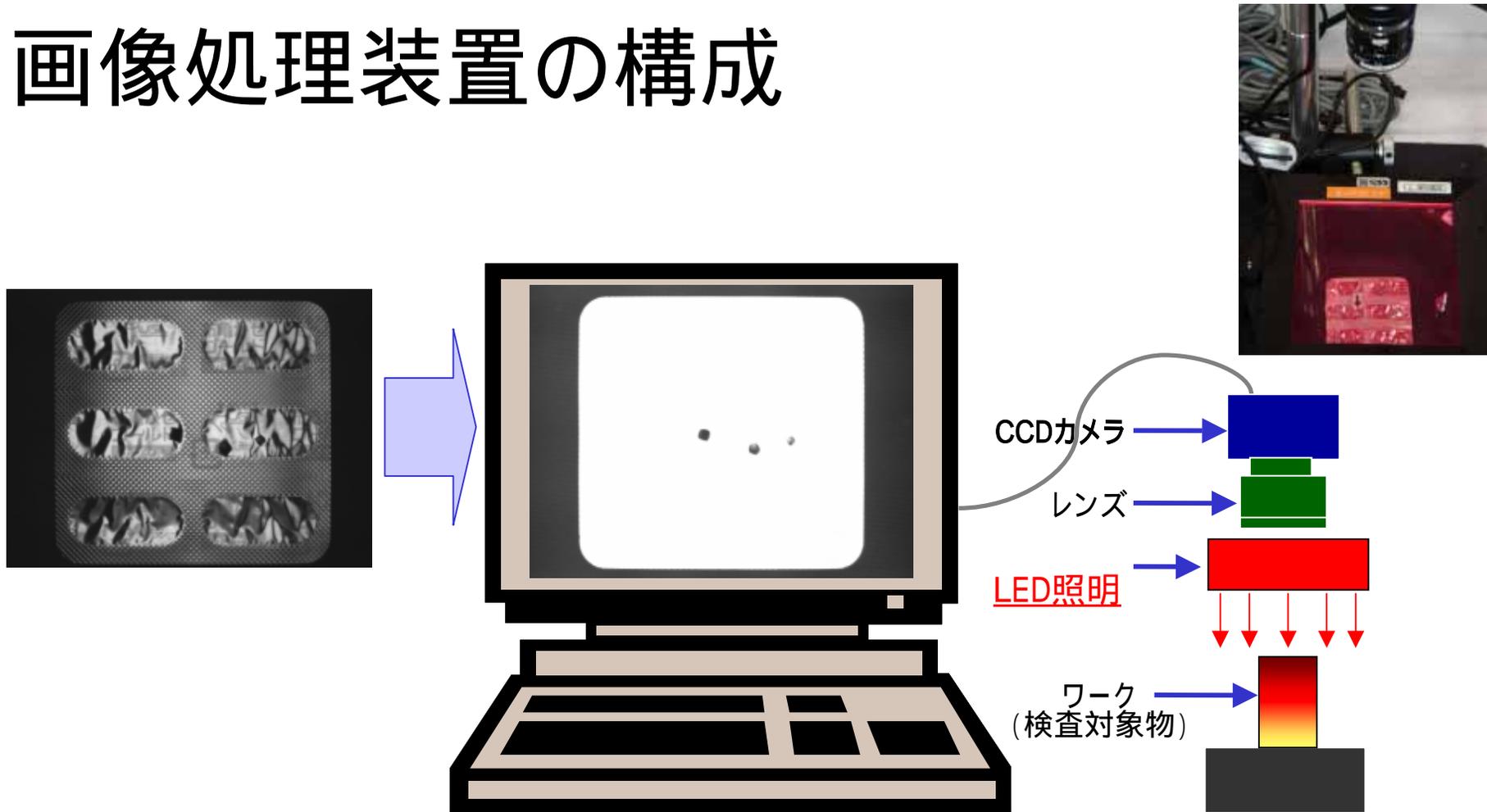


画像処理

1. 製造のスピード化
2. 品質、安全性(バラツキ)
3. 照明と画像処理の性能UP
4. 装置の低価格化

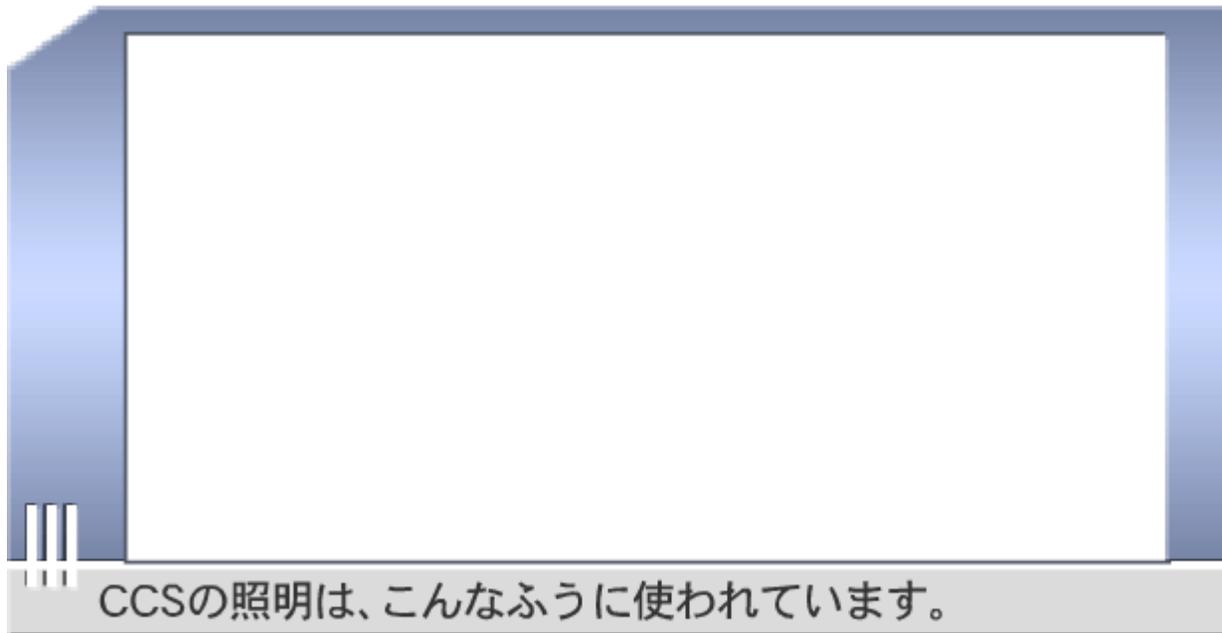


画像処理装置の構成



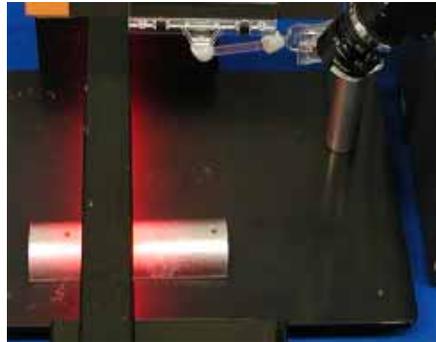
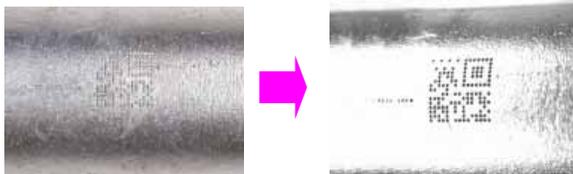
照明が画像処理の鍵を握っている！

シーシーエスの照明はこんなところで活躍

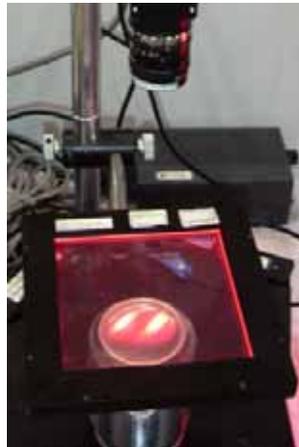


工業用LED照明事業

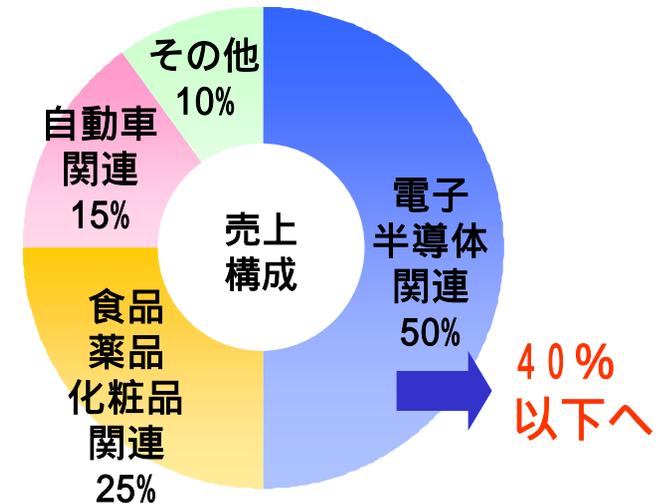
自動車部品の
2次元コード読取り



アルミ缶底の
ドット印字検査



工場のラインでの検査や組立に
使用される画像処理装置に
搭載される照明において
ライティングソリューションを提案



コアとなる技術 ~ 製造・集光・放熱技術 ~

製造技術

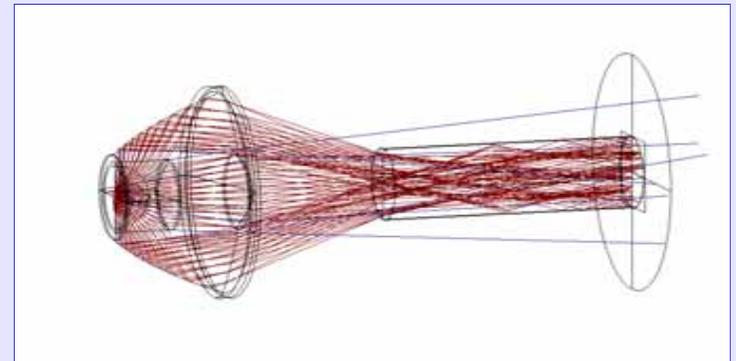
生産の効率化を実現
品質の向上を実現



* FFC方式 (フレキシブル基板フォールドエッジ方式)
【特許登録済】

集光技術

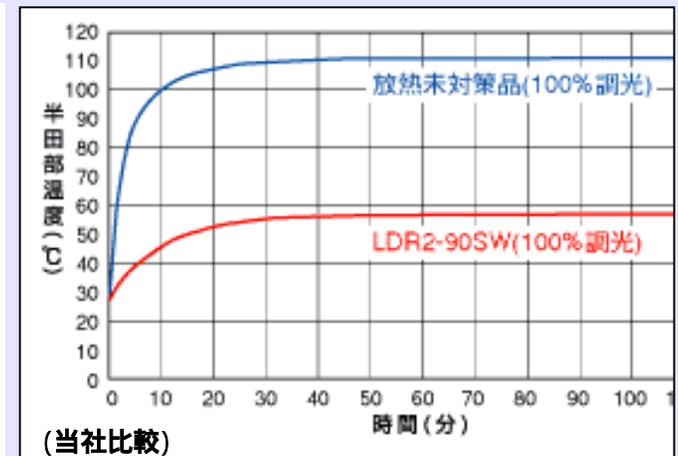
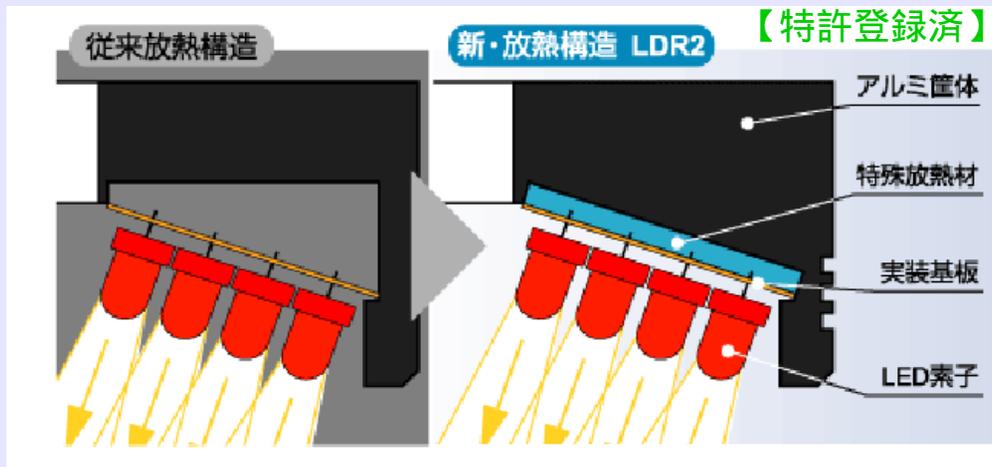
LED光を集光
することで
ハロゲン照明
以上の明るさ
が可能



* 集光照射構造【特許登録済】

放熱技術

LEDの弱点は**熱**。明るさは熱との戦い。



ライティング技術(光の当て方)

~ 照らし方のノウハウを持っているのはCCSのみ ~



見えぬものが見える!

ライティング・ソリューションを提供

製造技術

集光技術

放熱技術

標準品

特注品

ライティング技術
(検査対象に応じた35,000件のデータ)

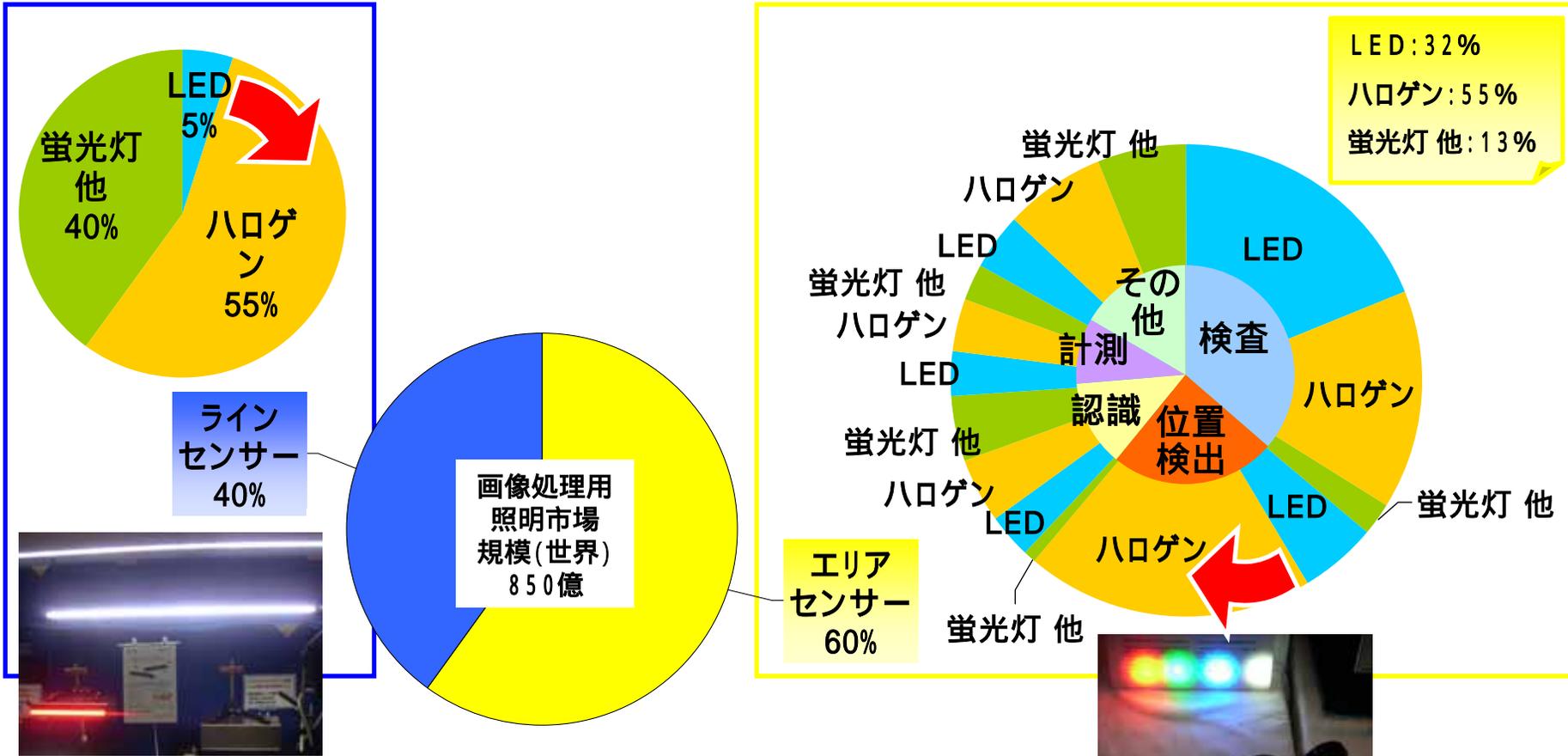
400種類
4,000種類

3つのコアとなる技術

品揃えが充実

お客様の満足度を最大化

市場規模 ~ 画像処理用LED照明 <用途別>

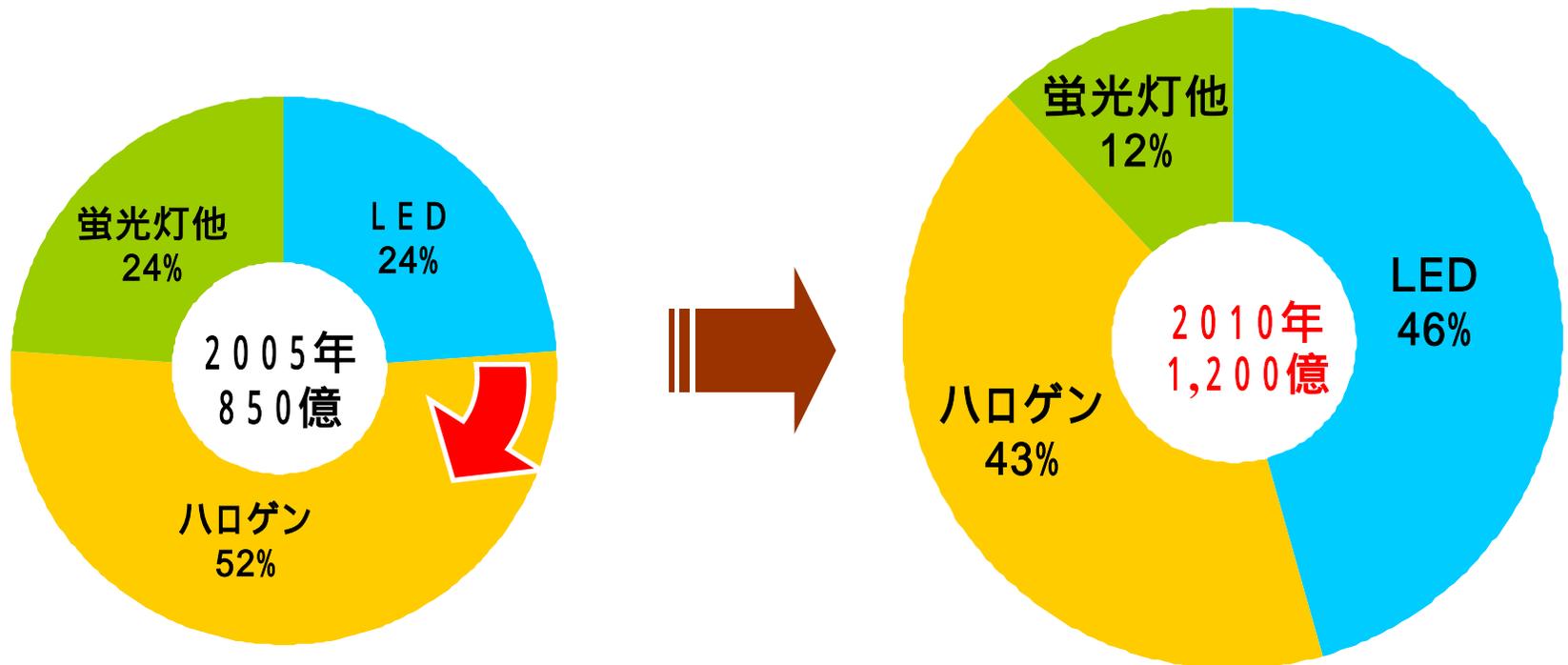


ハロゲンからLEDへの置き換えが加速



* 当社推計

市場規模の推移 ~ 画像処理用LED照明 ~



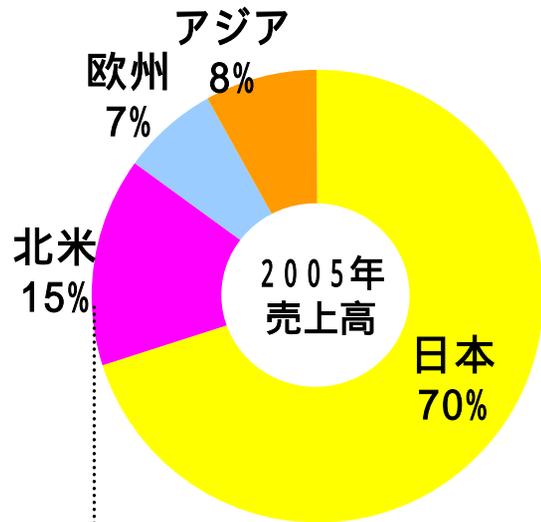
* 当社推計

海外展開

グローバル展開 ~ 四極体制の確立 ~



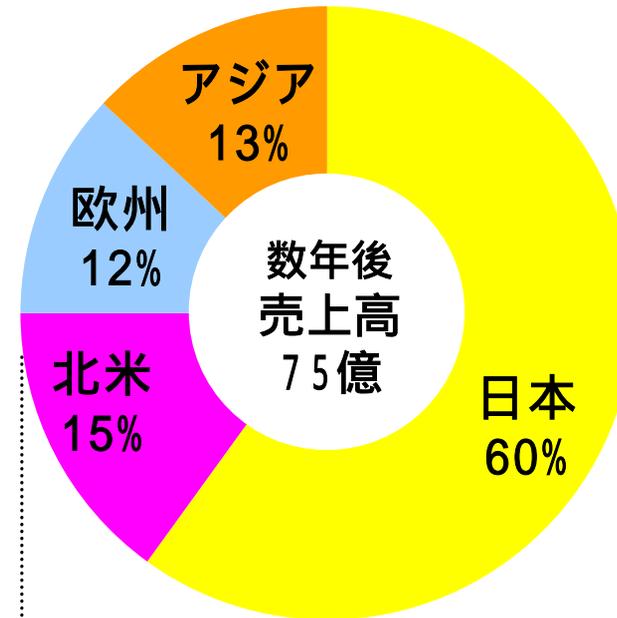
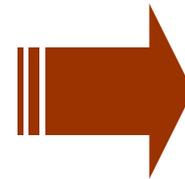
地域別売上構成



新規分野
3%

画像処理用
LED照明
97%

38億



画像処理用
LED照明
ライン
センサー
20%

画像処理用
LED照明
エリアセンサー
55%

新規
分野
25%

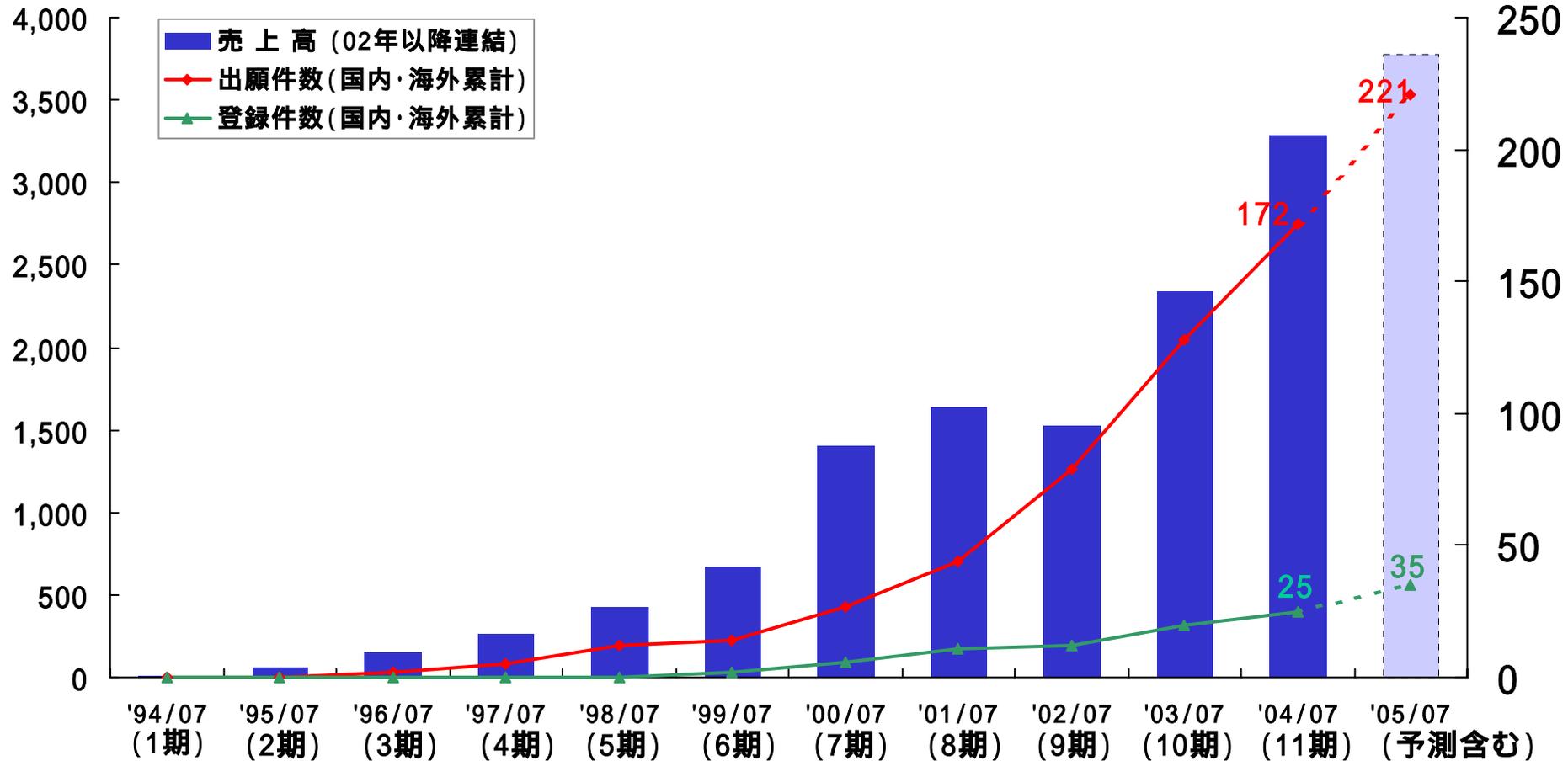
100億

特許戦略

売上高と特許件数の推移

(金額単位:百万円)

(単位:件)



新規事業

顕微鏡用照明分野

▶ 蛍光灯の3倍以上の高照度

WD = 100mmで
約50,000ルクス

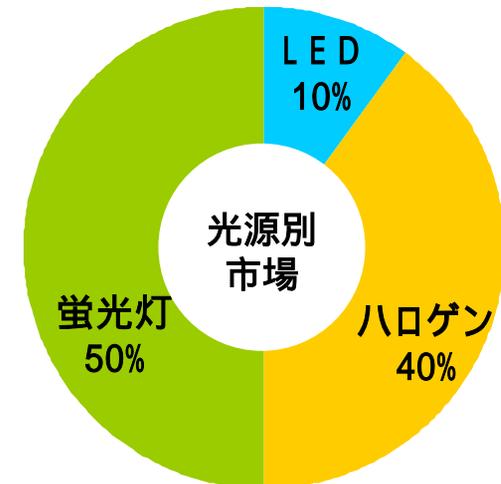
* 新機軸の集光技術
【特許出願済】

▶ 作業性を向上

* B.U.H.方式
(ボトムアップホールド方式)
【意匠登録済】

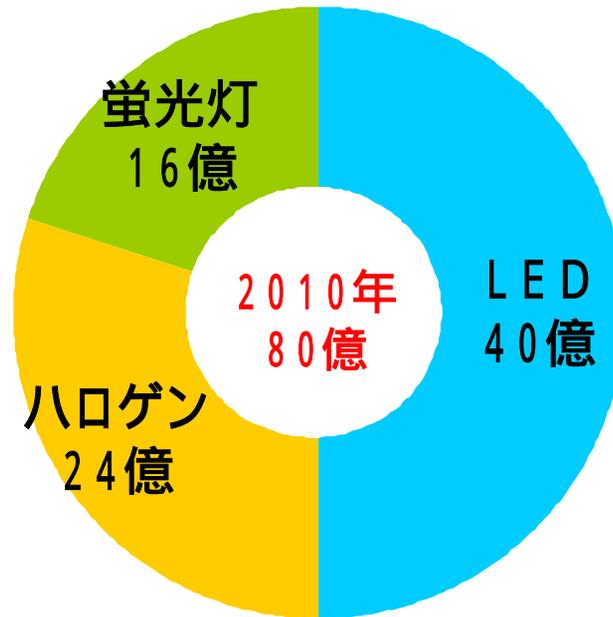
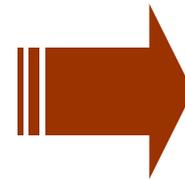
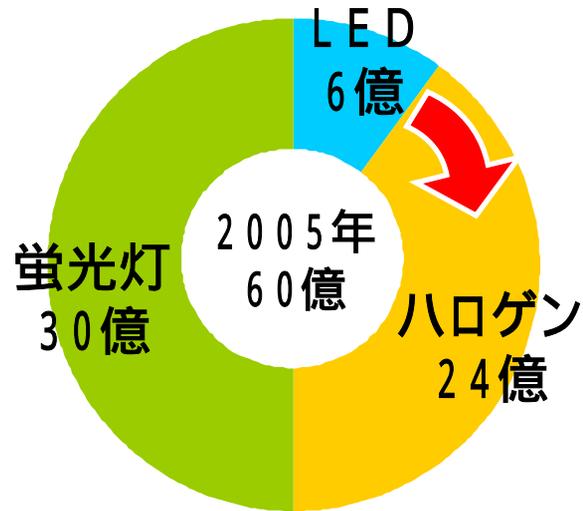


各種顕微鏡に最適なLED照明を提案。
世界的な顕微鏡メーカーの顕微鏡に標準搭載。



WD (Working Distance):
対物レンズからステージまでの距離

顕微鏡用照明市場



* 当社推計

	蛍光灯	ハロゲン	当社
平均照度	(15,000ルクス)	(種類により異なる)	(50,000ルクス)
形状の自由度	×	×	(小型・軽量、分割点灯可)
平均寿命		×	(30,000 ~ 50,000時間)
消費電力 CO ₂ 削減		×	(ハロゲンの1/30)

医療用照明分野

医療用照明応用製品の開発および販売

- ▶ 業界最速の硬化スピード
歯科用レジン硬化照射器を
2005年2月から販売開始
(OEM)

農業用照明分野

▶ 6月末出荷開始

生産規模：4,800株 / 日

農薬を一切使わない

クリーンルーム栽培(洗う必要なく、長期保存)



千葉県野田市
建設面積：850㎡



研究用途の植物育成装置の開発
および販売、植物育成実験プラ
ントにおけるレタス栽培およびLED
による採算性実証



インキュベーター
INS - 96



ISシリーズ



←愛知万博
出展風景

農業分野における環境の変化

外部環境

食料自給率の低下(約40%)
 異常気象(地球温暖化・風水害)
 人口増による食料危機
 作物の残留農薬問題



農業の工業化による安定供給

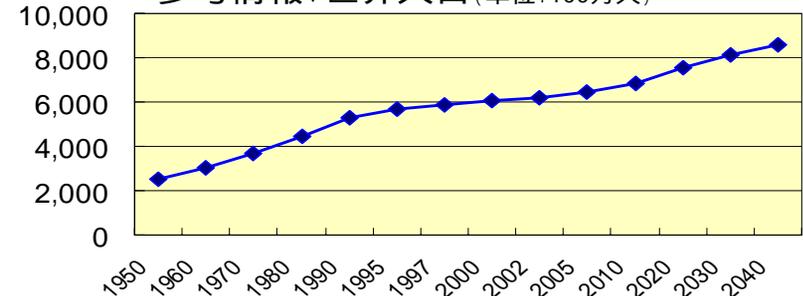
【課題】

採算性のとれるシステム



LEDを活用し
 低コストで
 付加価値の高いものを生産

参考情報：世界人口(単位：100万人)

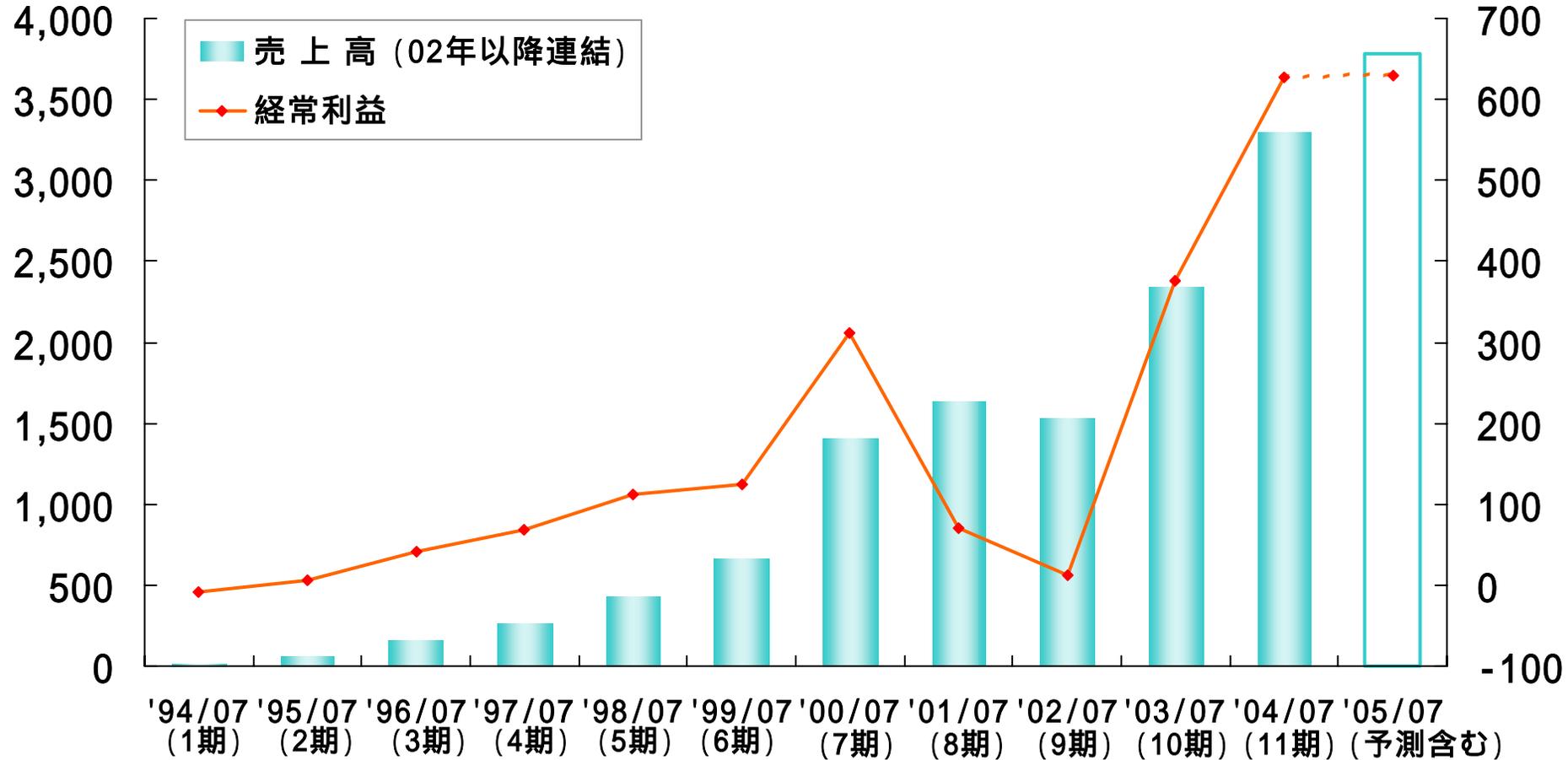


業績推移

業績推移

(売上高: 百万円)

(経常利益: 百万円)



四半期売上高および利益率推移

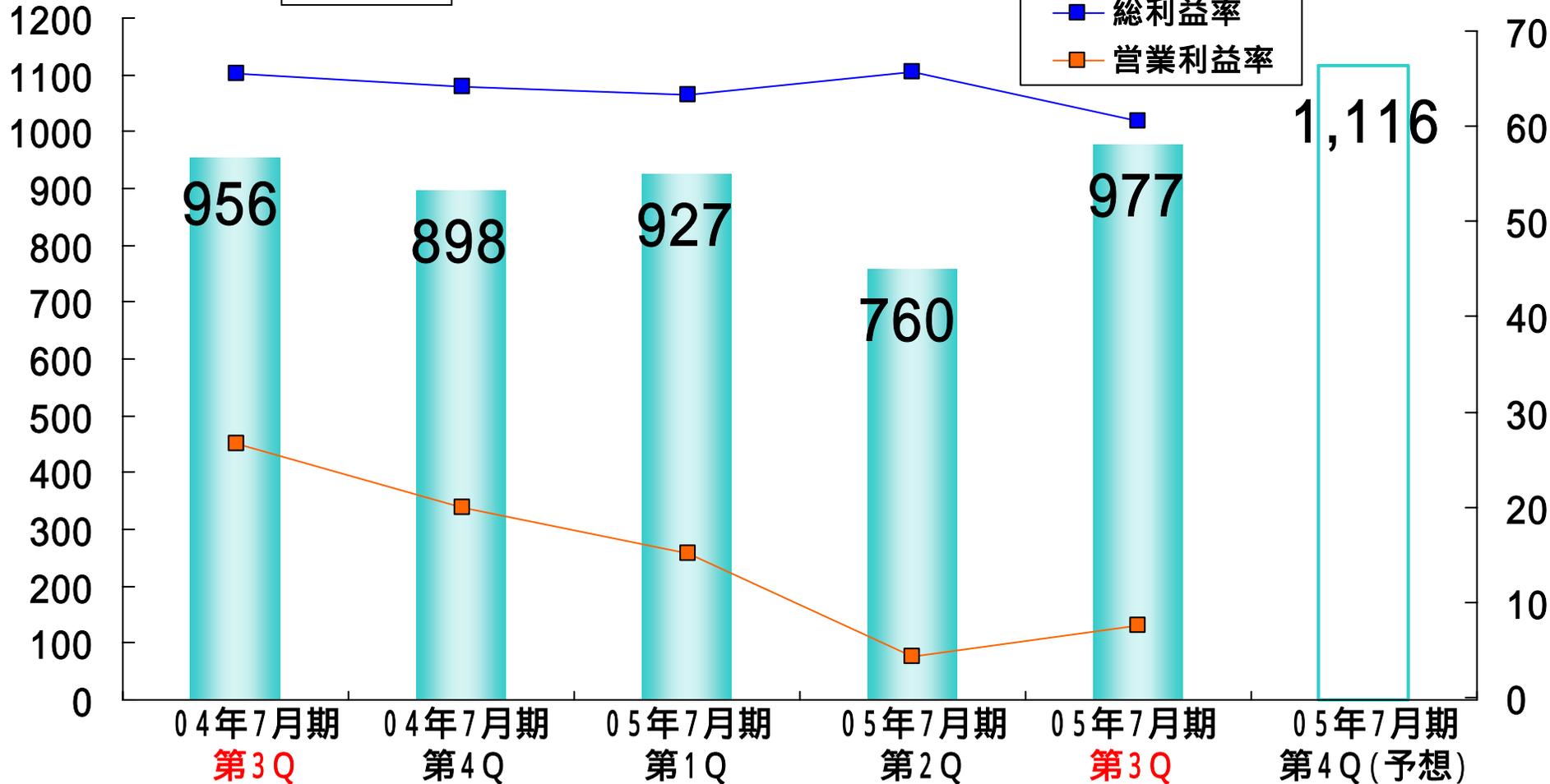
(単位:百万円)

■ 売上高

(単位:%)

■ 総利益率

■ 営業利益率



損益計算書

()は売上比率 (単位:百万円)

	(ご参考) 2005年7月期 中間	2005年7月期 第3Q	【前年同期比】	2004年7月期 第3Q
売上高	1,687	2,664	+11.4%	2,392
売上原価	601(35.7%)	987(37.0%)	+12.1%	881(36.8%)
売上総利益	1,085(64.3%)	1,676(63.0%)	+11.0%	1,510(63.2%)
販管費	911(54.0%)	1,385(52.0%)	+33.2%	1,040(43.5%)
営業利益	173(10.3%)	291(11.0%)	-38.1%	470(19.7%)
経常利益	162(9.6%)	282(11.0%)	-39.2%	464(19.4%)
当期純利益	99(5.9%)	164(6.2%)	-42.5%	286(12.0%)
研究開発費	159(9.4%)	246(9.2%)	+119%	112(4.7%)
販売促進・展示会費	44(2.6%)	50(1.9%)	+194%	17(0.7%)

注意事項

当資料は、当社株式等有価証券への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的なご判断は、投資家の方々ご自身がなさるようお願いいたします。



広報・IR室 TEL (075) 415-8291 FAX (075) 415-7723
京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374番地

(ジャスダック、証券コード6669)

2005年7月9日

<http://www.ccs-inc.co.jp/>

補足資料

米田社長プロフィール

A型 おうし座

立命館大学 理工学部卒業

- 1979年 京都セラミック株式会社 入社
- 1980年 ダックエンジニアリング株式会社入社
- 1992年 個人でシーシーエスを創業
- 1993年 シーシーエス(株)設立(10月)
- 1994年 画像処理用LED照明事業に特化
- 2001年 半導体不況の影響で業績が低迷
- 2002年 1月から回復基調に
成長の第2ステージに入る
- 2004年 ジャスダック上場(6月)

FA用自動機器
メーカーとして

展示会に出展
各社から注目

ノウハウ(15年間の
研究)を活かして
LED照明を開発

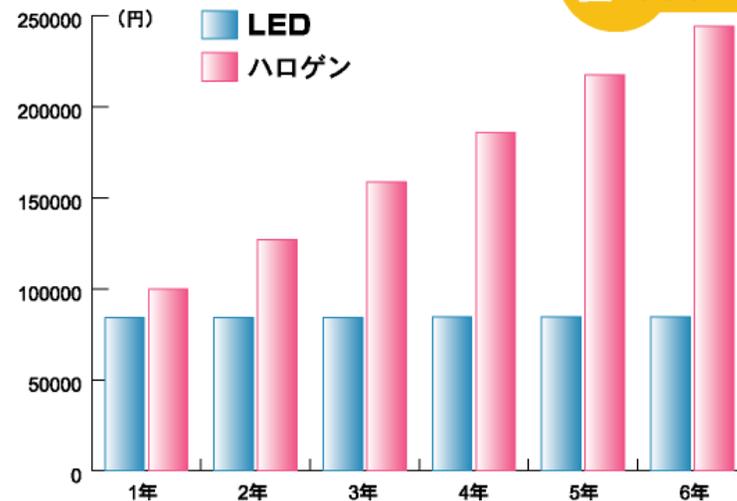
LEDの特長

- **輝度**
 - 技術革新によりハロゲン同等以上に
- 形状の自由度が高い
- 単一波長
- **寿命**
 - ハロゲンに比べて10倍以上
- **消費電力**
 - ハロゲンに比べ
1/50 ~ 1/100

寿命比較



トータルランニングコスト比較



さらに環境に優しいLED

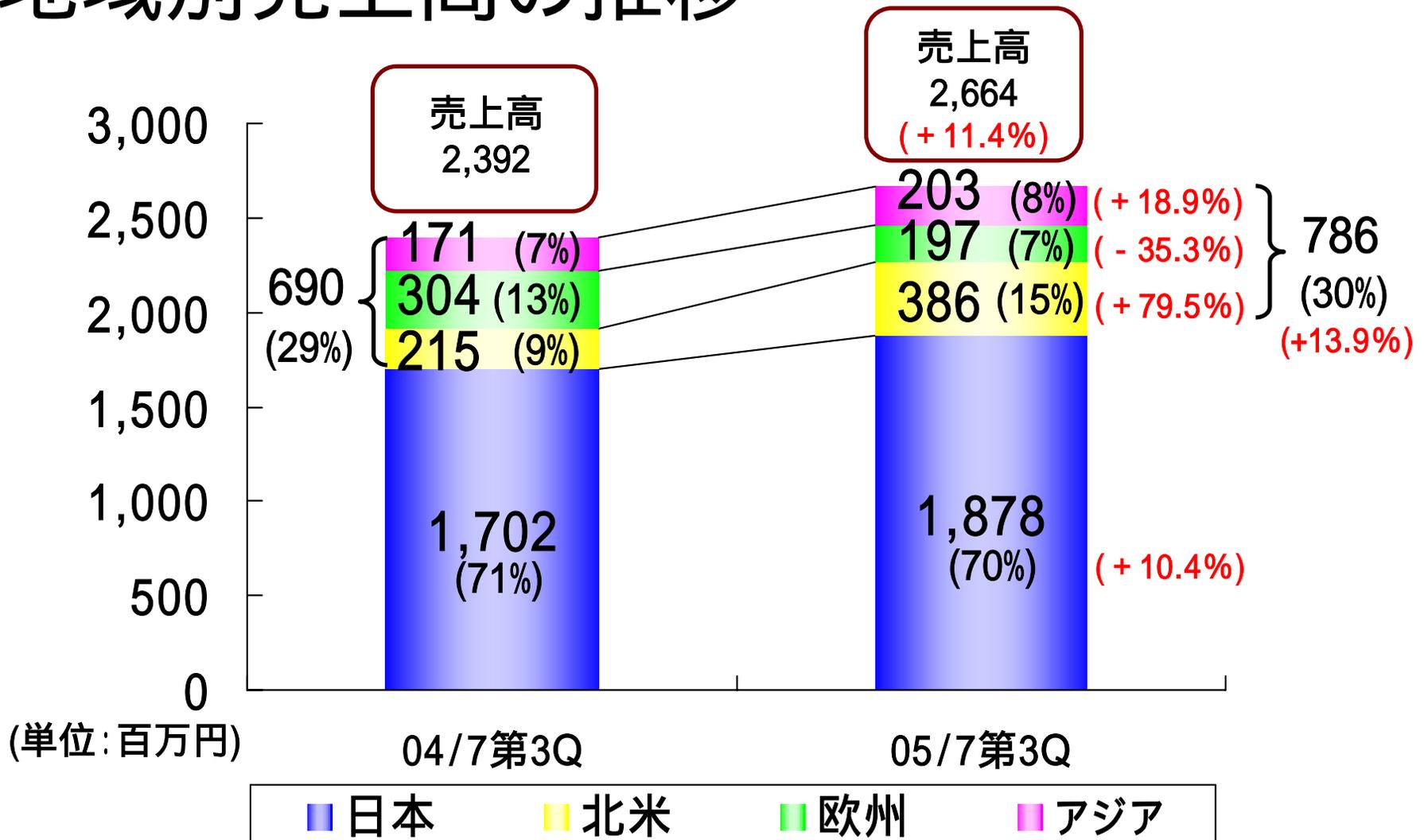
- 二酸化炭素排出量
 - ハロゲンに比べて98%削減



二酸化炭素排出量比較 ※電気消費量に対して排出係数(1kWhにつき0.36kgCO₂)を掛け合わせることで算出

	LED照明	ハロゲン照明
二酸化炭素排出量	●月間消費電力 $1.4\text{W (照明消費電力)} \times 720\text{h (24時間} \times 30\text{日)}$ $= 1,008\text{Wh}$ ●年間消費電力 $1,008\text{Wh (月間消費電力)} \times 12\text{(月)} = 12,096\text{Wh}$ ●二酸化炭素排出量数値: $1\text{kWh} \times 0.36\text{kgCO}_2$ $12,096\text{kWh} \times 0.36\text{kgCO}_2 = 44\text{kgCO}_2$ (年間非出量)	●月間消費電力 $100\text{W (光源消費電力)} \times 720\text{h (24時間} \times 30\text{日)}$ $= 72,000\text{Wh}$ ●年間消費電力 $72,000\text{Wh (月間消費電力)} \times 12\text{(月)} = 864,000\text{Wh}$ ●二酸化炭素排出量数値: $1\text{kWh} \times 0.36\text{kgCO}_2$ $864\text{kWh} \times 0.36\text{kgCO}_2 = 311.04\text{kgCO}_2$ (年間非出量)
1年後の排出量	44kgCO ₂	311kgCO ₂
2年後の排出量	88kgCO ₂	622kgCO ₂
3年後の排出量	132kgCO ₂	933kgCO ₂

地域別売上高の推移



計画の進捗

2004年度基本戦略	進捗
ハロゲン置換え 市場の攻略	高輝度スポット照明を販売開始 高輝度ライン照明を開発
自動車 食品業界 等へ注力	自動車業界および食品業界向けの新製品(8機種)を開発 自動車組立工程における高輝度スポット照明を受注
グローバル展開	四極体制(日本 北米 欧州 アジア)の確立
新規事業の 立ち上げ	顕微鏡用LED照明(数機種)を開発および販売開始 歯科用レジン硬化LED照明を販売開始 研究用インキュベーターおよびパネルを開発および販売開始 植物育成実験プラントの本稼動
特許戦略	出願件数: 39件、登録件数: 9件
本部制の導入	権限委譲、経営のスピードアップ

最近のトピックス

2004

8 高輝度スポット照明「HLV-24-3W」を発売
HLV専用電源「PJシリーズ」を発売



9 RDV (S) PTE LTDの株式取得(100%子会社化)

植物育成装置「INS-96」を発売



倍率可変マクロレンズ「SE-16シリーズ」を発売



11 欧州現地法人CCS Europe N.V.をベルギーに設立

12 癒しのあかり「Athena」(アテナ)を発売



1 実体顕微鏡用LED照明「CSR」を開発
第22回エレクトロテスト・ジャパンに出展



2005

2 歯科用レジン硬化照射器を発売



3 植物研究用LED照明ユニット「ISシリーズ」を発売

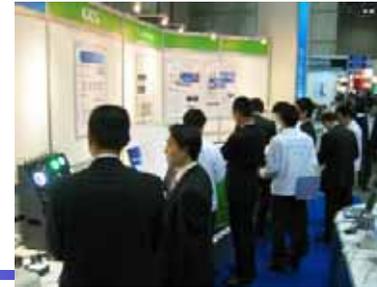
顕微鏡用途のLED照明(数機種)を発売

4 投資家向け広報サイトの優良企業2005を受賞



5 第5回国際バイオEXPO2005に出展

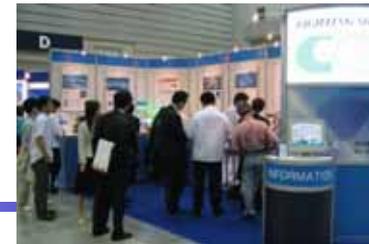
- ～ 農業用照明および顕微鏡用照明の展示～
- ～ セミナーにて発表
「研究と生産の架け橋となるLED植物育成研究機器」～



愛知万博「光未来展」に出展



Vision Show West 2005(C.A., U.S.A.)に出展



6 第5回光ナノテクフェア2005に出展

- ～ 顕微鏡用照明ラインナップの展示～

第11回画像センシング展2005に出展

- ～ 新製品の展示:特にライン照明への注目度大～



2005自動車部品生産システム展に出展

- ～ 部品検査、2次元コード読み取り、触媒の検査における技術紹介～

植物育成実験プラントよりレタスを出荷

品質マネジメントシステム
ISO9001認証取得

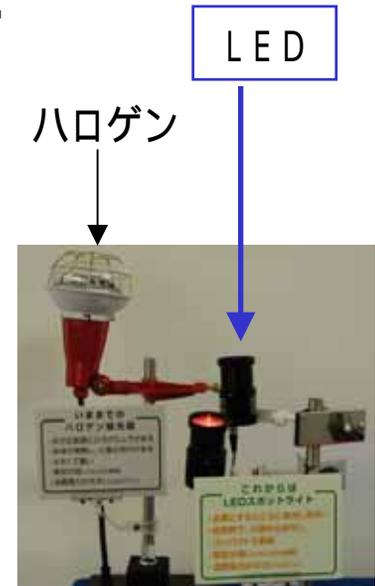


2005

環境対策としてのLEDへの期待



LEDへの
注目度の高まり



環境問題

- 京都議定書の発効 - 地球温暖化防止のためCO₂削減へ -
- ROHS指令 2007年7月1日以降(欧州において)
- ハロゲン/蛍光灯に含まれる有害物質(水銀)が規制対象へ -